

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日

上場会社名 株式会社メガチップス 上場取引所 東  
 コード番号 6875 URL <https://www.megachips.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥川 哲士  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 熊谷 光訓 (TEL) (06)6399-2884  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	56,070	△8.6	5,542	△5.5	7,003	18.2	4,678	△82.2
2022年3月期第3四半期	61,376	△11.4	5,862	33.6	5,924	100.0	26,248	726.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 8,486百万円(△69.0%) 2022年3月期第3四半期 27,348百万円(811.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	243.92	—
2022年3月期第3四半期	1,262.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	90,220	74,254	82.3	3,868.33
2022年3月期	89,842	67,428	75.1	3,517.30

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 74,254百万円 2022年3月期 67,428百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、利益配分に関する基本方針に基づき期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。2023年3月期の配当予想額は未定のため、期末配当金の予想を「—」と表記しております。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	72,000	△4.3	7,200	2.4	7,200	△8.4	4,700	△82.9	245.17	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社(社名) MegaChips VC2 USA LLC、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	21,967,700株	2022年3月期	21,967,700株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,772,253株	2022年3月期	2,797,111株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	19,179,165株	2022年3月期3Q	20,785,833株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料については、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における電子機器業界においては、産業用電子機器の需要が微減となったものの、民生用電子機器、電子部品・デバイスの需要は概ね前年同四半期と変わらず、電子機器業界全体の市場は前年同四半期とほぼ同水準で推移いたしました。

ASIC事業においては、これまでの主力分野であるゲーム機器、デジタルカメラ、事務機器分野に加え、産業機器分野における国内外の有力顧客に向け、顧客の機器・サービスのアプリケーションに最適なソリューションを提供しております。その競争力は、顧客のアプリケーションに関する深い理解と独自のコア技術を基に、顧客の課題解決のために、独創的なアルゴリズム・アーキテクチャを搭載したシステムLSIを開発し、提供できることにあります。

ASSP事業においては、急速な情報通信技術の革新が進展する中で更なる成長を図るため、今後の成長が見込める産業機器分野、通信分野、AI分野、エネルギー制御分野、ロボット分野、車載分野等をターゲットとした新規LSI事業の立ち上げに経営資源を集中しております。アナログ回路の開発・設計技術の競争力強化と、国内・海外企業との戦略的な協業に取り組み、差別化できる付加価値の高いソリューションを開発・提供することで、将来の収益の重要な柱となる新たな事業の育成を図っております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期に比べ減収となりましたが、ゲームソフトウェア格納用LSI（カスタムメモリ）の需要が第1四半期に比べ第2四半期及び第3四半期と堅調に推移し、売上高は560億7千万円（前年同四半期比8.6%減）、営業利益は55億4千2百万円（同5.5%減）となりました。

経常利益は、持分法適用の関連会社であるSiTime Corporationの持分法による投資利益（のれん等償却費を含む）が4億1千7百万円、為替差益が6億2千3百万円それぞれ発生したこと等により、70億3百万円（同18.2%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、46億7千8百万円（同82.2%減）となりました。なお、前年同四半期においては、SiTime Corporationの株式を一部売却したこと及びSiTime Corporationが新株発行増資を実施したことにより、特別利益として関係会社株式売却益が292億5千1百万円計上されております。

当社グループは単一の事業セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は902億2千万円（前連結会計年度末比3億7千8百万円の増加）となりました。主要な項目を前連結会計年度末と比較すると、受取手形、売掛金及び契約資産が37億1百万円、商品及び製品が33億7千8百万円、Morse Micro PTY. LTD.へ出資したこと等により投資有価証券が84億3千4百万円、関係会社株式が55億3千9百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が143億6千3百万円、未収入金が73億9千万円それぞれ減少しております。

負債合計は159億6千6百万円（同64億4千7百万円の減少）となりました。主要な項目を前連結会計年度末と比較すると、短期借入金が40億円増加した一方で、支払手形及び買掛金が21億7千7百万円、未払法人税等が65億5千2百万円、流動負債のその他が11億8千1百万円それぞれ減少しております。

純資産は742億5千4百万円（同68億2千5百万円の増加）となりました。主要な項目を前連結会計年度末と比較すると、親会社株主に帰属する四半期純利益が46億7千8百万円となり、為替換算調整勘定が53億5千4百万円増加した一方で、剰余金の配当が17億2千5百万円となったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は82.3%（同7.2ポイントの上昇）となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、134億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ123億5千2百万円の減少（前年同四半期は15億4千8百万円の増加）となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、56億1千3百万円の資金の使用（前年同四半期は130億9千6百万円の資金の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が68億1千万円となり、その他の資産が67億7千5百万円減少した一方で、売上債権が37億1百万円、棚卸資産が41億円それぞれ増加したこと、仕入債務が21億7千7百万円減少したこと、法人税等の支払額が83億9千2百万円発生したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、98億8千6百万円の資金の使用（前年同四半期は223億5千3百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、2019年12月に実施したSmart Connectivity (DisplayPort)事業部門の譲渡に係る事業譲渡による収入が21億5千6百万円あった一方で、Morse Micro PTY. LTD. への出資を主として投資有価証券の取得による支出が94億4千7百万円、長期前払費用の取得による支出が10億3百万円、その他の支出が10億9千7百万円あったことによるものであります。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合算したフリー・キャッシュ・フローは、155億円の資金の使用（前年同四半期は92億5千7百万円の資金の獲得）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、22億7千2百万円の資金の獲得（前年同四半期は81億9千2百万円の資金の使用）となりました。これは主に、短期借入金で40億円の純増となった一方で、配当金の支払額が17億2千2百万円あったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の2023年3月期の連結業績予想値から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,769,446	11,406,011
受取手形、売掛金及び契約資産	7,950,688	11,652,631
有価証券	—	2,011,301
商品及び製品	2,345,180	5,723,936
仕掛品	951,209	1,651,583
原材料及び貯蔵品	324,761	346,409
未収入金	18,702,209	11,311,379
その他	1,439,335	1,569,183
貸倒引当金	△1,457	△1,365
流動資産合計	57,481,372	45,671,071
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,686,338	1,502,982
減価償却累計額	△1,363,074	△1,379,468
建物（純額）	323,263	123,513
その他	7,476,345	7,545,121
減価償却累計額	△6,041,238	△5,894,499
その他（純額）	1,435,107	1,650,622
有形固定資産合計	1,758,370	1,774,136
無形固定資産		
その他	423,142	512,619
無形固定資産合計	423,142	512,619
投資その他の資産		
投資有価証券	5,668,088	14,102,573
関係会社株式	19,105,173	24,644,773
長期前払費用	1,246,877	1,107,914
繰延税金資産	1,621,507	1,589,248
その他	2,537,872	818,265
投資その他の資産合計	30,179,520	42,262,775
固定資産合計	32,361,033	44,549,531
資産合計	89,842,406	90,220,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,101,451	5,924,263
短期借入金	—	4,000,000
未払法人税等	7,991,659	1,438,702
賞与引当金	850,758	532,143
工事損失引当金	33,921	154,336
その他の引当金	—	135,000
その他	4,390,487	3,208,713
流動負債合計	21,368,278	15,393,160
固定負債		
その他	1,045,509	573,029
固定負債合計	1,045,509	573,029
負債合計	22,413,787	15,966,189
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,840,313	4,840,313
資本剰余金	9,359,915	9,359,915
利益剰余金	56,013,709	58,956,481
自己株式	△8,364,802	△8,290,478
株主資本合計	61,849,135	64,866,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,455,486	1,909,927
為替換算調整勘定	2,123,997	7,478,253
その他の包括利益累計額合計	5,579,483	9,388,181
純資産合計	67,428,618	74,254,413
負債純資産合計	89,842,406	90,220,602

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	61,376,936	56,070,913
売上原価	50,710,573	46,204,057
売上総利益	10,666,362	9,866,856
販売費及び一般管理費	4,803,927	4,324,281
営業利益	5,862,435	5,542,574
営業外収益		
受取利息	6,111	67,767
受取配当金	—	185,336
投資事業組合運用益	6,455	—
受取派遣料	68,114	186,724
持分法による投資利益	—	417,447
未払配当金除斥益	1,166	700
為替差益	111,315	623,358
雑収入	23,624	25,431
営業外収益合計	216,789	1,506,764
営業外費用		
支払利息	21,432	6,129
債権売却損	33,781	29,853
自己株式取得費用	50,208	—
持分法による投資損失	14,391	—
雑損失	35,008	9,960
営業外費用合計	154,822	45,943
経常利益	5,924,401	7,003,396
特別利益		
関係会社株式売却益	29,251,940	—
持分変動利益	116,950	240,418
特別利益合計	29,368,891	240,418
特別損失		
固定資産除却損	92,678	45,421
減損損失	—	387,616
投資有価証券評価損	—	501
その他の投資評価損	205,115	—
特別損失合計	297,793	433,538
税金等調整前四半期純利益	34,995,500	6,810,276
法人税等	8,746,634	2,132,053
四半期純利益	26,248,865	4,678,222
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,248,865	4,678,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△208,205	△1,545,558
為替換算調整勘定	351,155	503,452
持分法適用会社に対する持分相当額	956,901	4,850,804
その他の包括利益合計	1,099,852	3,808,697
四半期包括利益	27,348,717	8,486,920
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,348,717	8,486,920

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	34,995,500	6,810,276
減価償却費	222,298	282,465
長期前払費用償却額	497,103	508,138
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△192,240	△318,626
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	33,063	120,414
受取利息及び受取配当金	△6,111	△253,103
支払利息	21,432	6,129
持分法による投資損益 (△は益)	14,391	△417,447
為替差損益 (△は益)	△244,823	△577,018
固定資産除却損	92,678	45,421
減損損失	—	387,616
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	501
関係会社株式売却損益 (△は益)	△29,251,940	—
持分変動損益 (△は益)	△116,950	△240,418
その他の投資評価損	205,115	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,387,123	△3,701,942
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,851,136	△4,100,778
仕入債務の増減額 (△は減少)	△340,576	△2,177,187
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,592,983	6,775,654
その他の負債の増減額 (△は減少)	△116,071	△772,904
その他	126,992	176,791
小計	△6,189,109	2,553,981
利息及び配当金の受取額	6,111	231,027
利息の支払額	△26,712	△6,098
法人税等の還付額	865	—
法人税等の支払額	△6,887,221	△8,392,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,096,067	△5,613,661
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△405,923	△634,946
無形固定資産の取得による支出	△325,600	△130,837
投資有価証券の清算による収入	—	270,590
投資有価証券の取得による支出	△553,868	△9,447,702
関係会社株式の売却による収入	24,491,500	—
関係会社株式の取得による支出	△345,060	—
長期前払費用の取得による支出	△519,427	△1,003,094
事業譲渡による収入	228,040	2,156,960
その他	△216,590	△1,097,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,353,069	△9,886,383

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,000,000	4,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,342,500	—
自己株式の取得による支出	△7,107,173	△139
配当金の支払額	△1,736,997	△1,722,717
その他	△5,429	△4,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,192,100	2,272,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	483,626	875,560
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,548,528	△12,352,132
現金及び現金同等物の期首残高	21,407,837	25,769,446
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,956,365	13,417,313

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)

(連結範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、MegaChips VC2 USA LLCを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。